

## 令和7年度 印西市の高齢者の買い物支援について検討

## 1) 圏域別地域ケア推進会議

テーマ：「買い物について考える～みんなどうしてる？これからどうする？」

目的：地域の様々な立場から高齢者の買い物の現状について話し合い、買い物について何か必要な策はあるのかを検討する。そして、現実可能なものは、市の施策や地域での取り組みとして実践していく。

	北部	南部	船穂	印旛	本埜
参加者	北部包括、市、ケアマネ、民生委員、社会福祉協議会、デイ事業所、ボランティア団体、自治会	南部包括・SC、市、ケアマネ、民生委員、社会福祉協議会、支部社協、シルバー人材センター、宅配業者、近隣スーパー、民間のサービス事業者 *ちょきん運動等通いの場の参加者179名に事前アンケート実施	船穂包括・SC、市、ケアマネ、民生委員、社会福祉協議会、支部社協、シルバー人材センター、いんざい健康ちょきん運動グループ	印旛包括・SC、市、ケアマネ、民生委員、社会福祉協議会、支部社協、移動販売事業者	本埜包括・SC、市、ケアマネ、民生委員、社会福祉協議会、支部社協、訪問介護サービス事業所、いんざいワーク・ライフサポートセンター、いんば障害者相談センター
買い物の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は、車でお店に行ける。</li> <li>・週1～2回、生協やコープを利用。</li> <li>・時には移動販売も利用。</li> <li>・歩きや、家族や近所の人に乘せてもらったり、家族に行ってもらったりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩または自転車で行く。</li> <li>・自分で車を運転したり、家族に乗せてもらって行く。</li> <li>・生協を利用。(若い時から利用しており、高齢になっても利用)</li> <li>・コンビニ勤務で、セルフレジがわからない人のサポートや荷物をシルバーカーに入れる等をしている。</li> <li>・民間サービスにも、買い物同行の依頼あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牧の原駅周辺では、近隣にスーパーやJA、ドラッグストア、衣料品店等あり、必要に応じて自分で店を選択して行っている。</li> <li>・車や自転車、徒歩での移動。</li> <li>・重たい物はネット注文。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動販売や生協を利用。</li> <li>・家族や近所同士で助け合いながら、車に乗せてもらう。</li> <li>・家族が代わりに行く。</li> <li>・マンションの有志で、マンション住民を対象に近隣での買い物や通院、役所での手続き等の送迎ボランティアを開始。</li> <li>・他地区でも、企業より車を借り、地域住民で買い物に行く取り組みがある。</li> <li>・支部社協が定期的に買い物バスツアーを実施。買い物も苗や農作業器具等様々で、散髪したりもしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くのお店、コンビニに行く。</li> <li>・ヘルパー(介護保険内外)を利用。</li> <li>・友人と一緒に行く。</li> <li>・家族や近所の人をお願いしている。</li> <li>・ボランティアと話しながらや、外出支援を利用し買う。</li> <li>・持って帰れない物は配達を利用。</li> <li>・移動販売や生協の利用。</li> <li>・支部社協主催の買い物バスあり。</li> </ul>

<p>買い物の良さや楽しさ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知り合いに会える。気分転換。</li> <li>・季節の食材や新鮮な食材を選んでも買える。新発見や流行を知れる。何を作るか発想がわく。</li> <li>・外出や体を動かすの機会となり、健康に良い。</li> <li>・人に頼らないで済む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物はストレス解消にもなる。</li> <li>・移動販売では、その場でおしゃべりができ、家に閉じこもりがちの人には良い場になっている。</li> <li>・百貨店の取り寄せが楽しみ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で目で見て選びたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物バスツアーで、参加者での昼食が情報交換や交流の場になっている。</li> <li>・移動販売の場が、コミュニケーションの場になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「交流」を楽しんでいる。</li> <li>・自分で見て買いたい。</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重い荷物は持って帰れない。</li> <li>・スーパーの駐車場が遠いと大変。</li> <li>・小売店が減り、衣類などの日用品を買える場所も少ない。</li> <li>・タクシーやバスを利用してまで買い物に行くか考えてしまう。</li> <li>・IT化についていけない（セルフレジ等）。</li> <li>・ネット注文は詐欺サイトか疑い不安。</li> <li>・免許返納後に買い物に行けるか心配。</li> <li>・買い物を頼める人がいないのが不安。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生協を利用しているが、同じものを頼んでしまったり、注文票の違うところにチェックしてしまうことがある。カタログの商品が細かく載っているが、高齢とともに見づらくなってきた。</li> <li>・配食サービスは献立が選べない。コンビニ弁当は野菜が少ない。</li> <li>・シルバー人材センターの買い物支援では、会員の車の保険を使用し自家用車で対応しており、会員がリスクを負う形になり、買い物同行は難しいところがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重い荷物は、持って帰れない。家電は配送しても設置が大変。</li> <li>・悪天候時の買い物が大変。</li> <li>・草深エリアの交通が不便。</li> <li>・自転車の道が整備されていない。</li> <li>・自分では大丈夫と思っているが、車や原付、自転車の利用を家族から止められると行けない。</li> <li>・ペットは家族同様だが、訪問介護ではフードの買い出しも頼めない。</li> <li>・下着やおむつ等は、家族（息子や夫など）に頼みにくい。</li> <li>・支払い方法が複雑で難しい。店舗によっても異なり大変。</li> <li>・認知機能が低下した時が不安。</li> <li>・急な買い物が必要になった時に手伝ってくれる人がいないと不安。</li> <li>・他の人を乗せてあげたいけど、責任等考えるとできない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの地区も交通の不便さあり。</li> <li>・免許返納で、家族や近所の人に乗せてくれる機会がなくなりつつある。</li> <li>・フレアイカはあるが、バスの停留所まで遠く、利用頻度があまりない。</li> <li>・家族に運転の心配をされても、免許返納をすると交通手段がなくなり、生活に困るため運転を継続している人が一定数いる。</li> <li>・家族等には、下着やおむつ等は頼みにくい。</li> <li>・地域の助け合いで送迎対応していても、場所が遠いとマッチングが難しいので、個々に合わせた対応が必要になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスでも「重い」「大きい」は大変。</li> <li>・体力低下、フレイルになる。</li> <li>・バスの乗降が難しくなったり、歩行器が乗せられない。</li> <li>・ふれあいバスの本数が少ない。旧地区はバス路線がない。</li> <li>・耳が遠くなり店員に迷惑をかける。</li> <li>・お店の循環バスが近くに来てほしい。</li> <li>・移動販売がうまく活用できていない。</li> <li>・運転ができなくなると行けない。タクシーを利用すると月3～4万円かかる。</li> <li>・滝野地区では食品はマルエツがあるが、衣類のお店がない。</li> <li>・ネット注文が主となり外出が減る。</li> <li>・同居者がいると買い物についての把握がもれてしまう。</li> <li>・子どもと高齢者をつなぐものがない。</li> <li>・料理ができなくなったら、宅配にするしかない。</li> </ul>

<p>あつたらいいなと思うもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な買い物方法の周知。</li> <li>・コンビニで生鮮食材が買える。</li> <li>・乗り合いバスやタクシー等の移動支援。</li> <li>・ITの使い方講習。</li> <li>・ネットで注文して、実店舗で受け取る。</li> <li>・ふれあいバスの増便。</li> <li>・タブレットで簡単に注文できる買い物アプリ（様々なスーパーの注文が可能なもの）</li> <li>・電動カートの普及。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩圏内にスーパーやドラッグストアがある。</li> <li>・年を取った時に、自助・共助等みんなで助け合えたらいい。。</li> <li>・買い物に自分で行き続けられるためには、バスや乗り合い車両、店舗専用バス等のサポートがあると良い。</li> <li>・直接店舗に行かずに買い物するには、見やすいカタログと注文のしやすさが大切で、電話で注文して届けてくれる方法、配色サービス等があると良い。</li> <li>・団地（エレベーターなし）の5階でも届けてくれるサービス。</li> <li>・ふれあいバスは市役所や公共施設を軸にしたルートになっているので、買い物関係のルートがあると良い。</li> <li>・外出支援サービスは公共の場や病院のみのため、買い物もできるようにしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物バス。自宅とお店の送迎。</li> <li>・無人販売。野菜や肉等の自動販売。</li> <li>・移動スーパー。</li> <li>・そうふけふれあいの里内にお店。</li> <li>・コンビニが近くにあると良い。</li> <li>・かごとくに金額がでるレジ。</li> <li>・駐車場は、平面が良い。</li> <li>・近所にワンストップのお店がある（クリーニングや銀行等も含む）。</li> <li>・買い物代行ボランティアやご近所の助け合いがある等、周りに頼れる人がいる地域になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドアツードアで乗り降りが柔軟にできる乗り合いタクシーがあれば、近所の人達と買い物に出かけられる。</li> <li>・移動手段があれば自分で買い物したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耳が遠くなることなど、周りの人に理解してもらいたい。</li> <li>・移動販売や交通機関が増え、買い物の手段が多数あると良い。</li> <li>・自分で買い物に行ける環境。</li> <li>・交通手段の確保や整備。</li> <li>・買い物に行きたい時に協力してくれる人を見つけれられるサービス。</li> <li>・普段から地域の交流がある。</li> <li>・健康であること。（自分で何でもできるから）</li> <li>・農家の空き地を借りて野菜を作り、自給自足の生活。</li> </ul>
---------------------	--	--	--	--	---